

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	田島 祥光	会員番号:	13058	事務局整理記入欄	北海道 - 206
分水嶺区分:	H071武利岳肩～P1633	(3) 山行日:	2005年 6月 5日	(4) 天候:	晴のち曇り午後雨		

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

CL田島祥光	13058						
SL北守 清	13077						
計		2名		計		名	

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		武利岳登山口～P1539(C1)～武利岳肩～P1633 往復											
アプローチ:		帯広～武利岳登山口											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	P1539(C1)	武利岳	143	11	44.08	43	44	4.32	1,522		6:00		幕営地
分水嶺到達点H071	武利岳肩	武利岳	143	10	47.18	43	44	6.08	1,868	6:40	6:45	A-2	(9)
	P1633	上支湧別	143	9	47.87	43	45	29.39	1,636	10:15	10:30	B-3,4	(9)
	(ここから引き返す)												
分水嶺離別点H071	武利岳肩	武利岳	143	10	47.18	43	44	6.08	1,868	14:00	14:00	A-2	
歩行終了点	武利岳登山口	武利岳	143	12	48.76	43	44	5.37	924	17:30		A-2	
総歩行時間(休憩時間を除く):											10時間40分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点


(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺上はまったく夏道はなく、背の高いハエマツの連続である

(10) その他の特記事項

(C1)から出発の用意をしていた午前5時30分、携帯電話に助田(陽)さんのお母さんが亡くなったとの連絡がはいり、急遽助田夫妻が下山、田島、北守の2名で中央分水嶺踏査をする

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: